

指定管理者モニタリングレポート

施 設 名	小動物園
所 在 地	鹿屋市向江町29番地 1 号
指定管理者	名 称： 公益社団法人 鹿屋市シルバー人材センター 代表者： 理事長 八代 祐二 住 所： 鹿屋市向江町29番地 1 号 連絡先： 0994-40-3382
モニタリングの 実施経過	●月例報告（毎月） ●事業決算の確認 ●現地調査（2 月） 1 回 ●利用者アンケート（毎月実施） ●その他（ ）
担当部課 （問合せ先）	建設部 都市政策課 電話 31-1148 内線 3414

【モニタリングの総合評価】

- 来園者の立場に立った管理に心掛けていた。
- 環境美化をはじめ、来園者の利便性、利用促進を図ることができた。
- 定期的な施設点検等を行い、その都度必要に応じた措置を講じ、園内等での事故も無く安全管理に努めることができた。
- シルバー便りやホームページ等により利用促進及び周知を行っていた。

【今後の業務改善に向けた考え方】

≪指定管理者が実施・検討する事項≫

- 施設の現状を踏まえ、さらなる利用者促進に向けた取り組みを行う。
- 動物の確保

≪施設所管課が実施・検討する事項≫

- 高木の剪定及び伐採の検討
- 施設等の改修・改善を検討
- 小動物確保の検討

(1)基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）	
① 合目的性・公平性・効果性	市民が良好に利用できるよう適切な維持管理、平等性の確保、利用促進の取り組み等、施設目的に合致した運営管理となっている。
(2)業務内容	
① 機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）	シルバー人材センター会員を従事させることで、高齢者の知識・経験を活かしつつ公園利用者への利用促進と創意工夫が図られている。また、来園者の親しみやすいような外観を整備し、施設の環境整備に伴う快適な空間の創出に取り組んでいる。HPや広報誌による広報活動にも取り組んでいる。
② 責任性・実行性（施設の運営体制や組織）	適切に実施されており、責任ある運営と管理体制を組織全体で対応している。
③ 明瞭性・規律性（適正な事務や経理）	毎月の事業報告書等の提出や事務処理も適正に行われている。
④ 安全性（安全管理・緊急時等の対応）	施設の定期点検も実施されており、緊急時の連絡体制も整っていた。また、警察とも連携し、パトロール強化の要請等行い、安全確保と事故防止に努めている。
⑤ 社会性（環境等への配慮）	施設内及び周辺環境へも細心の注意を払いながら、定期的な除草、清掃作業等実施している。
(3)事業収支	
① 経済性	コスト削減を図りつつ、利用促進のため適切な経費配分により良好な施設管理が実施されている。
(4)団体の経営状態	
①経営の健全性	経営の健全性については問題ない。

施 設 概 要 調 書

1 施設の概要

施 設 名	小動物園		所 管 課：都市政策課
所 在 地	鹿屋市向江町29番地 1 号		設置年月日：
設 置 目 的	動物に対する知識と愛護意識を高めるとともに、市民の憩いの場を提供する		
設置の根拠 (法令、条例等)	鹿屋市都市公園条例 鹿屋市都市公園条例施行規則		
施設の概要	設備の概要	敷地面積（㎡）	5,000㎡
		延床面積（㎡）	
		《有料》	
		《無料》	
	事業概要	(1) 公園の使用許可等に関すること (2) 使用料の減免に関すること (3) 動物園の維持管理に関すること (4) 動物園の展示にかんすること	

2 経営分析評価指標

① 事業収支	164,000円	④外部委託費比率	14.0%
②利用料金比率	-	⑤利用者あたり管理運営コスト	501.6円
③人件費比率	72.0%	⑥利用者あたり自治体負担コスト	504.5円

※ 少数点第 2 位四捨五入

3 運営状況

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
開館日数		
開館時間		
事業開催		

4 利用実績

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
施設利用件数 (申請のあったものに限る)	小動物園	3,360
	計	3,360
施設利用人数 (申請のあったものに限る)	小動物園	16,683
	計	16,683
相談件数		
講座参加者数		
合 計		16,683

5 事業収支

(単位：千円)

項目		実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
貸し室等利用 収入	会議室 1		
	会議室 2		
	会議室 3		
	計		
その他料金収入			
自主事業収入			
指定管理料		8,417	8,417
その他収入		0	115
収入計（A）		8,417	8,532
事業費			
人件費		6,029	6,029
修繕費		220	220
通信運搬費		60	57
施設管理費		732	692
印刷製本費			
光熱水費		200	194
委託料		1,176	1,176
保険料			
租税			
雑費		0	0
管理費			
支出計（B）		8,417	8,368
収支（A）－（B）		0	164

指定管理者自己評価表

令和 7 年 4 月 28 日

指定管理者 公益社団法人 鹿屋市シルバー人材センター

施 設 名 小動物園

確認事項		自己評価
履行確認	1 協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を行っているか	3・2・1
執行体制	2 人員の配置が適切であるか	3・2・1
	3 従業員に対し、業務に必要な研修や教育を適切に行っているか	3・2・1
	4 就業規則等を遵守し、雇用者の労働環境を確保しているか	3・2・1
	5 個人情報の取扱いは適切に行っているか	3・2・1
安全対策	6 危険箇所の把握及び点検を行い、利用者等の安全安心に努めているか	3・2・1
	7 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であるか（緊急連絡網や初動対応要領の作成等）	3・2・1
サービスの質	8 親切丁寧な接客に努めているか	3・2・1
	9 利用者からの苦情等に対し適切に対応しているか	3・2・1
	10 特定の者に有利又は不利な取扱いをしていないか	3・2・1
	11 サービス向上及び利用促進のための取組を行っているか	3・2・1
報告事項	12 利用者の満足度調査（聞き取りを含む）等を行っているか	3・2・1
	13 施設の破損及び異常について、速やかに対応し、市へ報告しているか	3・2・1
経営状況	14 利用者数や稼働率等は適切な水準であるか	3・2・1
	15 事業収支は妥当であるか	3・2・1
総合評価 (所感)	・ 計画的に選定・刈払い等を実施し園内美化に努めている。また、例年同様、保育園・小学校の団体受入れや中学生の体験学習受入れを行い、積極的に学習の場を提供している。飼育については、獣医、運営については、市役所主管課と連絡を密接に行い、安全で適正な運営に努めているが、エサの高騰が続いており、より一層経費削減が求められる。動物のふれあいについて、ウサギ以外の動物ともふれあえないかという意見もあることから、次年度はモルモットもふれあえるように計画している。	

【自己評価の採点基準】「3」…優 「2」…良 「1」…可

※ 総合評価（所感）の欄には、年間を通した指定管理業務において評価できる点や改善点・反省点を踏まえた所感を記載すること。